



誰もが安心して過ごせる学校や社会をめざして・・・(10月5日)



昨年度に引き続き、Aさんにご来校いただき、誰もが自認する性で、ありのままに安心して過ごせる社会をつくるためのお話を聴きました。

今回は、「身体の性と、自認する性(心の性)が違う人の社会の中での困りごとって何だろう?」「トランスジェンダーの友人と買い物に行った時、その友人がトイレの前で固まっています。あなただったらどんな声かけや行動をしますか?」など具体的な場面を想定して、席の周りの人と一緒に考え合いました。

「相手が困っている時に、『一緒に考えるで』と言えるような、上下ではないお互いが対等な関係を、いろんな人と築いていくことができれば、学校・社会生活を安心して過ごせるかなと思います。」とお話をしめくられたAさん。



関心をもって一緒に考えることが、いろいろな立場を認め合

う基本となることや、「アライ=味方」の存在の大きさを教えていただいた2時間でした。

(Aさんが紹介してくださった、『カミングアウトした時に言われてうれしい言葉』)

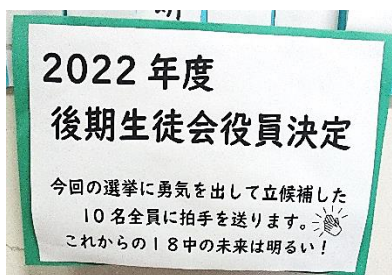
「言ってくれてありがとう」「なんか困っていることない?」「誰に言いたくて、誰に言いたくない?」

この三つぐらい言ってもらえたら私だったら安心かな・・・



後期生徒会役員に10人が立候補!(10月14日)

10月14日に後期生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。1、2年生が中心となる初の選挙でしたが、10人もの方が「十八中をもっとよくしたい!」という思いで立候補し、本当にすごいと思いました。



毎回生徒会役員に9人、10人と立候補者が出るのは、それだけ「みんなのために頑張りたい!」という思いを持っている人が多いこと、そして、これまでの生徒会が取り組んできたことが多くの人にとって、「かっこいい」「自分もやってみたい」というあこがれになっていた、ということなのだと思います。

告示表の下に張り出された左のメッセージにもありますが、



まずは10人の勇気、積極性に拍手を送ります!そして、生徒会役員だけではなく十八中みんなの力で「あこがれの生徒会」を引き継いでいってほしいと思います。

(立会演説会で学年を超えて応援演説をしている人が多かったのも、十八中全体の仲の良さが表れていて微笑ましかったです!)

前期最後の月1クリーン作戦(10月7日)

前期生徒会最後の活動となった10月の月1クリーン作戦は、校内の清掃活動ではなく「花いっぱいプロジェクト」の苗植えでした。中間考査2日目の午後、多くの方が参加しパンジーの苗を黒いポットに植え付けました。

今は体育館の前にずらっとポットが並んでいますが、その数642個!このパンジーは今後プランターや花壇に植え替えられ、3年生が卒業する時に華やかに会場を飾る予定です。



パンジーが咲き誇る春、3年生は卒業です

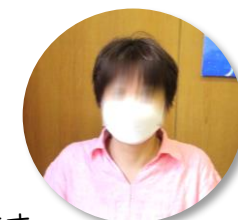
新しい先生の紹介です

9月から2年生の家庭科を、B先生に担当していただいています。豊中市の中学校に勤めるのは初めてですが、真面目に授業に臨むみなさんの姿に感心しておられました。

2学期から2年生の家庭科と一緒に勉強することになりましたBです。羽曳野市から週二日、豊中市立第十八中学校でお世話になります。今まで南の中学校での勤務ばかりで、今回初めての北の中学生と勉強することとなり、不安と楽しみの思いで来ましたが、十八中学校の生徒のみなさんはとても落ち着いているので授業を進めやすいです。

わからないこと、間違っことも親切に教えてもらい、とてもうれしく感じています。

教室での授業や調理実習を楽しくできるように頑張りますので、よろしくお願いします。



1、2年の保護者のみなさまへ 奨学金のお知らせ

詳しくは似鳥国際奨学財団のホームページをご確認ください。

似鳥国際奨学財団 2023年度(上期)中学生 募集要項

- 支給金額: 月額3万円(給付型)
- 支給期間: 2023年4月~2024年3月
- 採用人数: 最大150名(上期、下期合わせて)
- 応募〆切: 2022年11月20日(日)
- 応募資格: ひとり親家庭の中学生
- 応募方法: 似鳥国際奨学財団のホームページからエントリー(上QRコードから入れます)

